

ビジネスアイディアの概要

メニエール病、片頭痛、喘息などの発作性疾患では「いつ起こるかわからない」という予測不能性が、患者の生活に大きな影響を及ぼしている。睡眠管理やストレス回避などの生活指導が重要とされている一方で、介入のタイミングを**客観的に判断する指標は十分に確立されていないという課題がある。**

本構想では、スマートリングから取得される連続生体データを活用し、発作に先行して現れる生理学的変化を可視化することで、発作性疾患の予兆検知基盤を構築することを目指す。初期ターゲットは**メニエール病**とし、より**適切なタイミングで提供できる形へ進化させる。**

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- ・ 発作に先行して変化する生体指標の抽出と検証
- ・ 医師・患者にとって分かりやすい提示方法の設計
- ・ 医療機関や企業との連携を深めながら、知財・事業モデル・規制対応を含めた開発方針を具体化

事業化の見通し

メニエール病を対象にスマートリングで連続生体データを取得し、発作に先行する変化の特徴を明らかにする。これにより、予兆検知基盤としての実現可能性を検証する。将来的には、医療現場での活用に加え、ウェアラブルデバイス関連企業への技術展開も視野に入れ、片頭痛や喘息など他の発作性疾患への応用を目指す。
本構想に関心を示した企業から、検証用デバイスの無償貸与を受ける予定である。

事業者情報

望月 文博（聖マリアンナ医科大学/東京慈恵会医科大学）
小森 学（聖マリアンナ医科大学）
千葉 伸太郎（太田睡眠科学センター）
森野 常太郎（東京慈恵医科大学）

ビジネスアイディア概要図等

